



がん患者セミナー&カフェを開催しました



1月27日(金)に、平成28年度 第4回目のがん患者セミナー&カフェを開催しました。当日参加者も含め院内・院外から患者さん、家族14名にご参加いただきました。今回のテーマは『がん治療と仕事の両立。利用できる制度について』。当室で開催しているワーキングサポート(がん患者の就労支援)でもお世話になっている、東京都社会保険労務士会板橋支部より前田社会保険労務士を講師に招き、制度や世間の動向などご講義いただきました。ご感想をいただきましたのでご紹介します。

1月27日(金)、がん治療と仕事の両立、利用できる制度について～治療と暮らしのこと、障害年金～、社会保険労務士の立場から、お話をさせて頂きました。主な内容は、がん治療しながら仕事ができるようになったこと、仕事を休んでいる間の暮らし(傷病手当金、高額療養費、障害が残ったときの身体障害者手帳、障害年金など)のことです。その後、個別相談会で4人の方とお話できました。

感じたことは、医療の進歩によって長寿が可能になったこと、それに伴い治療が長くなったり、又障害が残ったりして、療養費などが暮らしにじわじわと影響を与えていること、そして現行の制度や社会の意識は、どのように対応できているのだろうかということです。そのような中、同じ悩み・心配を抱えておられる人達が集まり、ともに話し合い励まし合いができる「がん患者café」が、大変重要であると思いました。cafe終了後も、



セミナーの様子

参加者の皆さんと医療スタッフの方々が、お一人ひとりとお話しされている姿をみて、あゝ、スタッフの皆さん本当に信頼されているのだな感じました。こんな機会を与えて頂き有難うございました。

東京都社会保険労務士会板橋支部 社会保険労務士 前田康彦



カフェの様子

次回 4月27日(木)「がん治療中のアピランス(外見)ケア」
～取り戻そう自分らしさを！～

講師：資生堂ライフクオリティービューティーセンター



小児がん地域連携推進研修会に参加しました！



平成29年2月9日、池袋ステーションコンファレンスで、小児がん地域連携推進研修会が開催されました。聖マリアンナ医科大学小児科 助教 中村幸嗣医師から「小児がん患者のワクチン接種」について、当院の小児科 谷ヶ崎医師、小児外科 金田医師から「当院の小児がんセンターの現状」、大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科 主任部長 井上雅美医師から「小児がんの子ども達に最適な医療を！大阪での地域連携の取り組み」の演題で講義が行われました。ワクチンについては、治療でワクチン接種が出来なかった場合であっても、適正な時期、状態であれば摂取可能であるが、ワクチン接種が自費になってしまう場合や専門医と開業医の連携が必要であるという課題もあるとのことでした。井上医師からは小児がんも国の政策の対象になり、地域ごとに様々な対策がされつつある状況であり、近畿地方での取り組みを伺いました。

今後、小児がん患者さんの在宅医療など整備すべき課題もあるのではないかと感じました。患者さんの支援には、板橋区はもとより近隣の社会資源についても把握する必要があると、地域との連携はますます重要な課題であると感じました。

次回ワーキング・サポート(就労支援)3月日程



1回目:平成29年3月7日(火)、2回目:同14日(火)、3回目:同21日(火)の全3回コースです。
参加費は無料。お申し込みは当センターまで。詳細はパンフレットをご参照ください。

